

事業所名 たのしい家野多目

作成日: 令和 2年 4月 2日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	フロアに電子ロックがあり利用者様が自由に出入りできない。	電子ロックの開放の時間を増やす。	1. 見守りを強化しできるだけ電子ロックを開放する。2. 時間を決め例えばレクなどの時間に毎回開放する。3. 散歩や買い物等外に出かける時間を増やし閉塞感を解消する。4. いつでも職員が付き添えるような体制を整える。5. 今後とも職員間で話し合い解決策を検討する。	6ヶ月
2	51	季節や天候にもよるが日常的な外出が以前より減少している。	個々の希望に応じて、たのしい外出支援ができるように工夫する。	1. 個々に外出の希望を聞き取りその人に合った場所や時間を提供する。2. 家族に馴染みの場所があれば参考にする。3. 地域の行事等に積極的に参加する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。